

平成 22 年度事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日から 平成 23 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障がいの有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

当初目標とした広報力の向上については、ホームページ作成用の機器(パソコン、作成ソフト)を購入したが、整備は課題として残った。

地域の中での広がりとしては、前年度に引き続き地域の行事や研修会などには極力参加すると共に、実行委員会形式でのチャリティー絵画展により多くの方と繋がりを作ることができた。

拠点としての機能強化では、トイレ改修を行うことができ、より多くの人にとって集まりやすい場所にすることができた。また、不在時にも外からの連絡を受けられるような転送電話対応などを行い、柔軟な動きが取れる体制を整えた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行う。

A. よかよか

障がい児・者の休日における活動を支援する次の事業を行う。

ア. 地域生活力向上プログラム

決算書①、支出額 1,573 千円

(佐賀県地域福祉振興基金 1,155 千円助成)

どんな障がいがあっても地域で生きていく力を育てる事を目的に行った。「レスパイト」では、障がい児・者の余暇支援により、買い物体験、自然とのふれあいなどを行うことができた。「チャージ」では、動作法による療育プログラムを行い、心身の能力の向上と家庭での日々のケアに生かすことができた。「アップ」では、保護者同士の悩みを共有し、困った時に頼れる関

係づくりの基盤を作ることができた。利用者についてはほぼ予定通りだが、ボランティアの確保に苦勞する事が多く今後の課題である。

実施日：レスパイト… 8 日（1 泊の宿泊活動を含む）

チャージ… 11 日、アップ… 11 日

実施場所：「レスパイト」… 天神（パルコなど）、マリンワールド海の中道、筑紫野イオンモール、キャナルシティ博多、ひた天領おひなまつり、阿蘇・九重（宿泊活動）

「チャージ」「アップ」… 若葉コミュニティセンター、基里公民館、鳥栖市民体育センター、サンメッセ鳥栖

スタッフ数：（延べ）講師 37 名、ボランティア 139 名、事務局 39 名

対象者：心身に様々な障がいを持つ人及び家族。（延べ）150 名（家族）

4. 障がい児の長期休暇支援事業

決算書②、支出額 403 千円

（鳥栖市市民活動支援補助事業 300 千円助成）

夏休み及び冬休みの障がい児等に活動の場を提供し、療育的視点を持ったレクリエーションを行うことで心身の発達を促すと共に、長期の休みで介護負担が増加する家族のレスパイト・ケアを行うことを目的とした。

夏休みの 8 回については、今年も定員を上回る参加があった（1 回平均 5.1 人）。同じ方から複数回のお申し込みがあり、昨年に比べると実人員は減少した（12 人）。冬休みは期間が短いこともあり、夏休みほどではないが一定の利用者があることが分かった。また、活動場所として中原養護学校鳥栖田代分校をお借りすることができた。エアコン付きの教室とプールを使わせていただくことができ、特にプールは占有利用させていただいたので、普段は見ることはできない子ども達の様子を見ることができ密度の濃い関わりをすることができた。

他方、ボランティアの中心となる大学や専門学校などに通う学生ボランティアの確保に苦勞した。試験や実習のため、子ども達の休みと学生さん達のスケジュールとが非常に合いづらく、人数を確保することが困難だった。

実施日：講演会 6/13、夏休み期間中 8 日、冬休み期間中 3 日

実施場所：鳥栖市中央公民館、鳥栖市民プール、中原養護学校鳥栖田代分校、等

スタッフ数：（延べ）講師 19 名、ボランティア 45 名、事務局 11 名

対象者：講演会・12 名

長期休暇・鳥栖市内在住の 18 歳以下の障がい児延べ 45 名

B. こころとからだの健康教室ほっと

決算書③、支出額 2,281 千円

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただく目的で行った。

利用者数は若干減少してしまい、収入面で厳しいものとなった。一方で年度後半からほっと宅配便（出張）の件数が増えたことが明るい材料である。

実施予定日：毎日（月曜・祝日を除く）10～19 時

実施予定場所：事務所、など

予定スタッフ数：（通年）トレーナー 1 名、事務局 1 名

対象者：（延べ）一般市民 409 名

C. リサイクルショップくるり

決算書④、支出額 602 千円

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障がいを持つ人の社会参加の促進を目指した。

売上げの面では仕入れ品において堅調であり、定期的な購入も徐々に増えてきた。一方で、お寄せいただくリサイクル品（特に衣料品）が多く、事務所内に見やすく陳列しておくことが難しいため、日常的にお客様に見ていただくことが難しい状況となっている。

実施日：毎日（月曜・祝日を除く）10～17 時

実施場所：事務所、地域でのイベント（要るく祭、防災フェスタ、ふれあい広場、他）、など

スタッフ数：（通年）事業スタッフ 3 名、事務局 1 名、ボランティア多数

対象者：（延べ）障がいを持つ人や関係者 100 人、お客様多数

D. コミュニティサロン

決算書⑤、支出額 191 千円

障がいの有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行う。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

水曜日の食事会は固定メンバーが多かったものの、年度後半はやや減少傾向となった。また、木曜日には障がいをお持ちの方 1 名に過ごしていただき、料理などを行いながら楽しく過ごすことができた。

実施予定日：【食事会】毎週水曜日 10～15 時

【わいわい】毎週木曜日 10～15 時

実施予定場所：事務所

予定スタッフ数：(通年) ボランティア 4 名、事務局 2 名
対象者：(延べ) 一般市民 988 名

E. 福祉啓発事業

決算書⑥、支出見込額 125 千円

障がい福祉の分野を中心に、誰もが自己実現できる社会づくりへ向けた啓発・研修事業を次の通り行った。

ア. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会(すみかサロン)や交流事業(会員交流企画、しゃべらナイト、等)を行い、障がい福祉に関する理解を深めた。

一方で、事前の広報不足から参加者が伸び悩み、大きな反省となった。

実施日：7月(すみかサロン)、12月(しゃべらナイト)

実施場所：鳥栖市社会福祉会館、飲食店、など

スタッフ数：(延べ) 4 名

対象者：すみかサロン 10 名、しゃべらナイト 6 名

イ. 出張講演事業

福祉への理解推進・啓発活動を目的とした各種講演・講座などに講師として出張し、誰もが暮らしやすい社会づくりへの一助とした。

実績としても前年より伸びており、非常に高い評価を得ることができた。

< 芹田 >

① いきいき生活塾「広げよう！ユニバーサルデザイン」

日時：2010年6月8日

場所：旭公民館

② 人権集会「「障がい」って何だろう!？」

日時：2010年6月14日

場所：北波多小学校

③ 鳥栖市民生委員児童委員連絡協議会障がい者福祉部会研修会

「「障がい」って何だろう!？」

日時：2010年7月1日

場所：鳥栖市民体育センター

④ 障がいと余暇について

日時：2010年7月5日

場所：西九州大学社会福祉学科特別支援教育コース

- ⑤ 特殊教育学会「特別支援教育時代における動作法Ⅰ」
日時：2010年9月20日
場所：長崎大学文教キャンパス
- ⑥ 知的障害者、青年期（学校卒業後）の課題
～仕事、余暇、住居、家族関係～
日時：2010年10月2日
場所：筑後市社会福祉協議会（筑後市手をつなぐ育成会）
- ⑦ 障害と社会とあなた
日時：2010年10月23日
場所：筑後市社会福祉協議会（ちくたくネット）
- ⑧ 「「障がい」って何だろう!？」
日時：2010年10月26日
場所：ケア・ライフ・コーポレーション
- ⑨ 動作法の地域展開と事業としての自立を考える
日時：2010年12月12日
場所：名古屋国際会議場
- ⑩ 肢体不自由者の心理・生理・病理「「障がい」って何だろう!？」
日時：2011年1月11日
場所：筑紫女学園大学
- ⑪ 福祉ボランティア基礎養成講座「ボランティアを始める前に」
日時：2011年2月21日
場所：鳥栖市社会福祉会館
- ⑫ 淡交会「「障がい」って何だろう!？」
日時：2011年3月7日
場所：魚ふじ
- < 西任 >
- ① 市民対象にした動作法を行うトレーナーとして
日時：2010年9月18日
場所：早良市民体育センター
- ② 日の隈祭「ニコニコふれ愛デー」
日時：2010年11月13日
場所：西九州大学
- ③ 動作法スーパーバイザー
日時：（通年）14回
場所：ひかり園

< 鬼塚 >

① 若葉よろず塾「ストレス対処法と心の健康」

日時：2010年12月9日

場所：若葉コミュニティセンター

スタッフ数：3名

ウ. 先進地視察旅行

地域福祉に複数のNPO・社会福祉法人で連携して取り組んでいる地域を視察研修した。障がいを持つ人が地域の中で暮らしていくことを当然のこととして捉え、支える仕組み作りについて学ぶことができた。

実施日：12月13日

実施場所：愛知県知多市

(地域福祉サポートちた、知多成年後見センター、ふわり、など)

スタッフ数：2名

対象者：13名

F. 市民協働事業

決算書⑦、支出額0千円

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行った。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(イオングループの社会貢献企画に2店舗参加)

イ. 鳥栖・三養基地区障害者自立支援協議会[全体会、長期休暇支援部会]

(構成団体として)

ウ. 鳥栖市障害者理解促進事業(芹田：市民公募委員として)

エ. 鳥栖みらい会議(芹田：市民公募委員として)

オ. ふれあいスクール(芹田：校長として)

カ. 県立福祉施設移譲先候補選定委員会希望の家部会

(芹田：選定委員として)

キ. ふれあい広場(芹田：企画委員として)

ク. 指定管理者候補選定委員会勤労身体障害者教養文化体育館部会

(芹田：選定委員として)

ケ. チャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」(実行委員会形式で開催)

コ. 佐賀県肢連事務局(委託契約による事務局業務)

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

J.自動販売機設置事業

決算書【その他の事業】

支出額 0 千円※特定非営利活動に係る事業会計の繰り出しを除く

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金的に補填した。設置箇所の増加が今後の課題である。

実施予定日：通年

実施予定場所：本法人を支援する企業内（1箇所）

予定スタッフ数：（通年）2名